

## 抗酸菌検査とは？

いよいよ新年度になりました。2025年は感染症の発生が少ない1年になるとよいですね。そして、昨年多かった針刺し事故が起きないように願うばかりです。さて、昨年は当院でも結核発生が多い1年でした。多くの職員や患者さんに接触者健診にご協力いただきました。今後も抗酸菌検査を実施することは多々あります。そこで、今回は抗酸菌検査について取り上げたいと思います。

### 抗酸菌とは？

抗酸菌とは結核菌などの抗酸菌と呼ばれる細菌のことです。細菌を色素で染めたときに、酸で脱色されない性質を持つ菌です。その中でも、**結核菌**やそれ以外の菌のことを**非結核性抗酸菌 (NTM)** と呼びます。非結核性抗酸菌は土壌や水系などの自然環境、水道や貯水槽などの給水システム、家畜などに広く生息しています。

### 抗酸菌検査にはどんな検査があるの？

結核菌などの抗酸性を持つ細菌を検出するための検査です。抗酸菌検査は塗抹検査、PCR (TRC) 検査、培養検査、IGRA検査があります。以下の4つの検査方法がよく行われます。

#### ◎ 塗抹検査

結核を疑った際に最も行うことの多い検査です。喀痰や胃液などの検体から「**抗酸菌が存在するか、しないか**」を調べます。この検査では**結核なのか、非結核性抗酸菌症なのかはわかりません**。あくまでも「**抗酸菌**」の存在を調べる検査です。

#### ◎ PCR検査

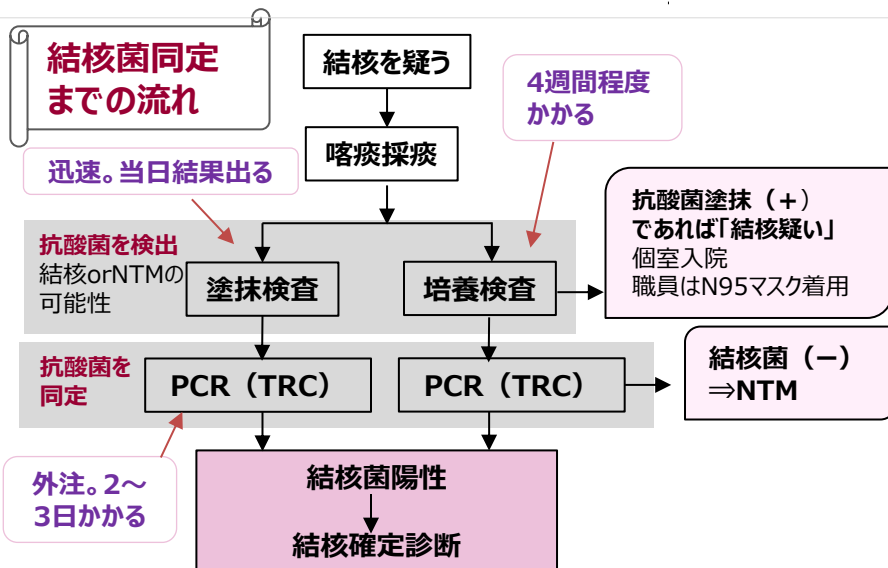
PCR検査は検体中に存在する菌を遺伝子レベルで決定するので、培養・同定検査結果を待たずに結核菌と判定できます。ただし、死菌も拾い上げてしまう可能性があります。

#### ◎ IGRA検査

IGRA検査はQFTやT-Spotなどの検査で血液検査で結核の感染の有無を調べる検査です。ただし、いつ結核に感染したのかはこの検査ではわかりません。過去の罹患歴も拾い上げます。

#### ◎ 培養検査

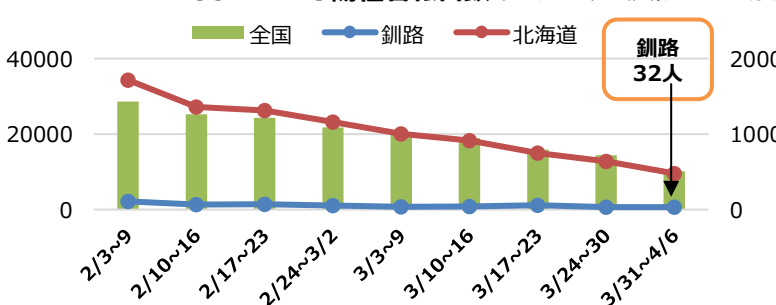
検体を培地の中において菌の増殖をみる検査。結核菌は菌の発育が遅いため、4週間以上かかります。



### 抗酸菌検査の注意事項

- 抗酸菌検査の指示が出たら、結核を疑っている可能性があるため、個室で採痰。対応する職員はN95マスク着用。結果が出るまでは個室のまま。
- 一般培養検査と一緒に指示が出ることが多い。「抗酸菌」の検査かどうかしっかり確認する。
- 塗抹検査は当日に結果がでるが、約1～2時間程度時間を要する。検査はダブルチェックするため夕方に検体を提出する場合、当日に結果が出ない場合がある。できるだけ早めに検体は提出する。
- 抗酸菌陽性の場合、検査科から連絡が入るため、速やかに空気感染対策を開始する。

全国 COVID-19陽性者報告数 北海道感染症情報センター公表



### 新型コロナウイルス感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会も引き続き原則禁止とさせていただきます。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。